

令和2年度 第1回 一宮市男女共同参画推進懇話会 議事録(要旨)

日 時: 令和2年7月10日(金) 午前10時～10時54分

会 場: 本庁舎11階1101・1102会議室

出席者: 委員12人、事務局15人 ※欠席委員2人

傍聴者: 0人

○議題

(1) 副会長の選出について

委員からの推薦により、学校代表の近藤委員が副会長に就任した

(2) 第3次一宮市男女共同参画計画推進状況について【資料1・資料2】

会議における懇話会委員からの意見と事務局の回答は次のとおり

(1) 基本目標3 事業番号3222「市民活動団体への支援金交付」について(P18)	
懇話会委員意見	事務局の回答
<p>制度としては終了とのことだが、どのような効果があったか。</p>	<p>市民活動に対する支援制度として、全国的にもスポットを浴びたことで、市民活動というものが市民全体に広く周知された。しかしながら、本来は自立して自分たちの力で活動していただくのが市民活動であり、それを支援するための制度であったが、投票により、たくさん票を集めたところがたくさん支援金を頂ける制度により、恒常的な補助制度というような形も見受けられるようになったため、新たな制度の構築が必要となった。</p>
(2) 基本目標3 事業番号3423「自主防災リーダー養成」について(P21)	
懇話会委員意見	事務局の回答
<p>「令和2年度 事業計画」欄で、「男女協働参画」と、「働」を使用しているのは何か意味があるのか。</p>	<p>誤字である。</p>
(3) 基本目標5 事業番号5221「DV相談の実施」について(P32)	
懇話会委員意見	事務局の回答
<p>新型コロナウイルスの影響で、DVや児童虐待があってもなかなか見つからなかったり、対面の相談だと足を運びにくかったり、家族が一緒にいると聞かれたら困るので電話しづらいといった色々な命題が出てきているが、一宮市での相談のありようはどうか。</p>	<p>新聞報道などで懸念されていた児童虐待やDVの深刻化や増加について、4月、5月の調査でははっきりとしなかったが、今月に入り、児童虐待の相談件数は増えてきており、家庭内で生活しているうちは表には出なかったものが、7月になって顕在化しているのではないかと推測される。DVに関しては、4月、5月も明らかに相談件数が減っていたので、家族が家にいる状態では相談ができなかったのではないかと推測される。</p>

○その他

・令和2年度の男女共同参画啓発事業について【資料 3】

コロナ禍におけるセミナー等の開催の仕方について	
懇話会委員意見	事務局の回答
<p>会議等は Zoom アプリを使用して行っており、セミナーも Zoom を使って参加したところ、十分伝わると感じたので、WEB での開催も視野に入れたらどうか。</p>	<p>オンラインセミナーとか、録画配信などを行うというのも方法の 1 つとして検討していきたい。</p>
<p>大学では今、ほぼ授業がオンライン配信で、学生に課題を出しているが、トラブルもなく 9 割ぐらいはきちんと返ってくる。若い人にはオンラインは非常に興味があるのではないかと考える。</p> <p>国立女性教育会館(NWEC)の夏のフォーラムはすべてオンラインに変わった。基調講演からワークショップの開催も全てオンライン。関心があれば、担当者を紹介することができる。</p>	<p>オンラインでのセミナーやワークショップは、まさしく新しい生活様式に係るものであり、参考としたい。</p>
<p>来られる方は会場に来て、来られない方、会場に来たくない方はリモートで参加するという併用方式が、より参加者の意向に沿ったようなものになると思う。主催側は大変かもしれないが、勉強すれば、そんなに難しいことではないと思われる。</p>	<p>全ての方がオンラインに対応できるというわけではないので、対面でのセミナー、3密を避けた上で開催が可能であれば、そちらも含めて、また、オンラインセミナーとなると、ライセンス等の問題もあるので、例えば YouTube 等での録画での配信等も含めて検討していきたい。</p>

・男女共同参画社会づくり「標語」入賞作品の審査について【資料 4-1・資料 4-2】

QRコードでも応募が可能となったことについて	
懇話会委員意見	
<p>若い世代はオンラインに強いという話があったが、小中学生も非常に強く、抵抗なくできると思う。小学生の子はまだ自分のスマホとかが広まってはいないと思うが、保護者の方と一緒にということであれば、非常に有効な手立てではないかと思う。</p>	